

2023年(令和5年)  
7月号(第26号)  
発行：東志賀学区  
連絡協議会



## 学区盆踊り

さあ、今夏も踊り明かそう！学区ふれあい盆踊り大会が8月5日(土)に予備日6日に迫ってきた。コロナ禍を経て昨年、3年ぶりに復活した夏の風物詩。会場は東志賀小、午後6時のスタート。みんなで踊って夏の思い出をつくろう！ポスターは東志賀小6年の真下結太君が描いてくれました。芸術界の巨匠・岡本太郎に憧れる学区の若手アーティスト。盆踊りの当日が誕生日という縁は、偶然か、それとも運命か？

# 今夏も熱く踊ろう！



## 住民の絆 一大行事

地元の絵画教室に通う真下君は、岡本太郎の画集を目にして「黒の塗り方が力強く、斬新」と一目惚れ。以来、心の中の師匠として尊敬しているそうです。ポスターを頼まれた時の心境を「どう描こうか、楽しみになった。自分が岡本太郎になつたつもりで描きました」と振り返ります。ポイントには「奇妙で謎に包まれたワクワク感」。やぐらから伸びる足、謎めいた浴衣の踊り手…。巨匠顔負けのインパクトを持った作品です。「盆踊りに参加するか？するする！とにかく、みんなで楽しみたい」と、自身の誕生日でもある当日を待ちわびています。

ポスター描く 真下君

憧れは巨匠・岡本太郎



今夏は飲食も復活予定。子ども向けの企画も満載。学区の各団体の皆さんが準備をしてくれます。未来の巨匠が手がけたポスターを見た君！さあ踊ろう！

## ふれあい給食



学区の民生委員さんたちが、地元のお年寄りのために「ふれあい給食」の取り組みを続けてくれています。コロナ禍でまだ対面形式の食事は叶いませんが、6月は、うなぎ弁当を約70人

## 思い込めて 園児の手紙も



に提供しました。新生東志賀保育園の園児たちはこの日のために、高齢者へのメッセージカードを作ってくれました。「いっぱいいたべて げんきにすごしてね」。スタミナ満点のうなぎ弁当と、子どもたちのかわいいお手紙。蒸し暑い夏を元気に乗り切れそうですね！

## 学童こどもまつり 屋台やゲーム盛況



## 次はアーバン夏祭り！

志賀学童のこどもまつりが6月に開催され、雨の中、大勢の住民でにぎわいました。地域を盛り上げるために、お父さんとお母さんが屋台やゲームなど多彩

な企画を準備してくれました。学童名物の「焼きそば」を食べ逃したという方。次はアーバン夏祭り(7月29日夜)で振る舞います。ぜひ、ご堪能下さい！

## 今月の題字

7月号の題字は、なんと、学区外のキッズ2人が力作を寄せてくれました。表面は金城小3年の中尾継文君の7月を散りばめた夏いつぱいの作品です。裏面は同じく金城小3年の太田さいなちゃん、飼っている犬をモチーフにしたスイカ割りのイラストを描いてくれました。題字のイラストの応募は、編集部(鈴木まで)連絡先は裏面



「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

### 電子版新聞



### 7月16日 輪くぐり神事

学区は7月も行事満載。16日(日)18時から、兒子八幡社で無病息災を願う「輪くぐり」が営まれます。氏子総代会の皆さんが準備をしてくれま。25日(火)18時50分からは防犯夜間パトロール。稚児宮公園に集合し、防犯委員さんを先頭に1時間ほど地域を歩きます。もうすぐ夏休み。ぜひ、ご家族で参加を！

### 7月25日 防犯夜間パト



県警本部長の感謝状を披露する岡本さん

地域一帯となった交通安全活動が評価され、学区の交通安全委員会が県警本部長の感謝状を授与されました。表彰状には「多年にわたり交通安全活動を推進し、住民の意識高揚を図り、事故防止に寄与されました」とあります。学区の会合で岡本茂彦委員長が報告し、役員から拍手が起

きました。学区では多くの有志の住民が毎日、通学路で子どもの登下校を見守ってくれています。他学区の役員からは「東志賀の見守りの人数はすごい。とても真似できない」との声をよく聞きます。子どもたちの安全のために、住民の心意気が感謝状につながりました。

## 地域ぐるみ交通安全 県警本部長賞に輝く

### 年々、パワーアップ コミセンまつり大成功

学区の文化祭「コミセンまつり」が6月に開催されました。作品展のほか、マルシェやおゆずりコーナー、ダーツゲーム、和紙絵画のワークショップなど多彩な企画があり、多世



代で盛り上がりました。今回は北陵中学校美術部も作品を出展。消防団や防災委員会なども活動を紹介しました。年を追うごとに、パワーアップしているコミセンまつり。実行委

員会の谷口博子さんは「天気も良く、親子連れをはじめ多くの方が来場されました。コミセンまつりをきっかけに世代間交流ができたと思います」と話しています。企画や準備、



片付けに奮闘してくれた有志の皆さん(写真①)。本当にお疲れ様でした。

### 編集後記

先月号でお伝えした北陵中の野球部はその後、市総体でベスト4入り。県大会の切符をつかみました。野球、フットサルやテニポン、グラウンドゴルフ、バレー。ヒーローズは今後もスポーツに打ち込む人たちを応援していきます。

### 選手宣誓の大役 優勝旗つかめ!

学区の支援を受ける東志賀ジュニアクラブが、北区のソフトボールのリーグ戦連覇に向



けてスタートを切りました。新型コロナで中断したリーグ戦は3年ぶり。開会式では前回

Pから。入会



02) 35334  
専用メールは、h  
igashishi  
gaheroes@  
gmail.com

の優勝旗を返還。ジュニアのメンバーが選手宣誓の大役を果たしました。武藤吉範監督は「下級生のメンバーも増えた。久しぶりのリーグ戦を楽しんで戦いたい」と語っています。勝利をつかむため、有志の指導者たちと一緒に練習に励んでいま

## 連覇へ リーグ戦開幕

## 町の英雄 情報募集



学区で活躍

筋肉マン

体をきたえて夏を乗り切ろう！学区には重量挙げの国際大会を制した消防団員と、スポーツ自慢が競うテレビ番組「SASUKE」(サスケ)に出場した料理人がいます。二人に地域への思いや体力づくりのポイントを聞きました。



消防団・秦さん

重量挙げ国際大会制す

消防団員の秦邦一さん(49)は5月に韓国で開催された重量挙げの大会「アジア太平

洋マスターズゲーム」に出場し、見事、チャンピオンに輝きました。秦さんは高校の部活

で競技と出会い、今も仕事と消防団の活動の合間をぬって、週2回のトレーニングに励んでいます。競技歴34年の集大成として挑んだ国際大会。「継続は力なり。少しずつの努力が大きな成果になることを証明できた」と快挙を喜んでいました。東志賀で生まれ育った秦さんは、「いつかこの街に恩返しをした

かった。災害時、少しでも役に立ちたい」と消防団に入団。「普通の人より力持ち。重量物なら何でも任せて」と頼もしい存在です。「夢は生涯現役のリーダー。健康維持のためにも続けたい」。その話す秦さんのオススは毎朝、東志賀公園で行っているラジオ体操。「体力、筋力、柔軟、体幹を一度に鍛えることができます。毎日、こつこつ続けることが大切ですね」とアドバイスをくれました。

求む！消防団員

学区消防団は団員を募集中です。秦さんのように「街の役に立ちたい」という人はご応募ください。仕事や家の都合を理解し合いながら柔軟に活動していきます。問い合わせは、犬飼団長 ☎090(3254)8920

学区の兒子八幡社で7月16日、無病息災を祈願する「わくぐりまつり 茅輪神事」が営まれました。再び新型コロナウイルスの感染が増える中、氏子総代さんが住民の健康を願って準備をがんばってくれました。伝統行事を守るため、総代さんは毎年、茅を刈り取り、輪を手作り

無病息災！  
氏子総代が準備奮闘



「SASUKE」出場  
「幸龍」岩間さん

学区の人気店「台湾ラーメン 幸龍」の店主、岩間良真さん(47)は2017年、人気TV番組「サスケ」に出場した学区のトップ・アスリート。今も健康維持のためにジ



右側が「幸龍」の岩間さん

ムに通い、肉体をきたえ上げています。東志賀小には5年生で転校。「先生もすごく良い人たちですぐに友達ともなじめました。楽しかった思い出がありますね」と当時を振り返ります。住民には「健康維持のためのトレーニングは、自分ができる範囲でいいと思います。ただ、最近暑いので、ウオー

キングは涼しい時間を選び、水分をしっかりと補給して」と助言をくれました。もう一つのオススメは、お店の看板メニューで、スタミナ満点のニンクチャーハンと台湾ラーメン。「有言不実行は嫌。口にした事はやる様に心掛けています。今後、幸龍を2、3店舗と展開できたらいいですね」と夢を語ってくれました。

今月の題字

8月号は金城幼稚園園長の浅野煌翔君が応募してくれました。にゆうどう雲をバッグに咲くヒマワリ。セミの鳴き声が聞こえてきそうな夏らしい題字をありがとうございました。イラストの応募は編集部鈴木まで(連絡先は裏面)

してくれています。今年も大勢の住民が、力作の輪をくぐりました(右側の写真は谷口博子さん撮影)。神社の管理を手伝ってくれる人を募集中です。問い合わせは、氏子総代会会長の佐々木征一郎さん ☎080(5135)9634

# 町の英雄 情報求む

学区の地域新聞「東志賀ヒーローズ」は、地元の明るい話題を大募集中です。情報提供をお願いします。題字のイラストもお寄せください。お問い合わせは編集部 鈴木龍司(アーバン第1町内会長) 02-3534-3550 専用メールは、higashishigaherocomes@gmail.com

## 電子版新聞 ここから!



これまでの地域紙「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

# 夏休み朝からシャキッと!

## 寿会・子ども会 一緒にラジオ体操



学区の朝はラジオ体操で始まります。7月の夏休み期間中は、体操の輪がひととき大きくなります。今夏も、URアーバンラフレ志賀の寿会のお年寄り、子ども会が合同体操を

企画しました。朝6時半前。「眠いけど、ちゃんと起きたよ」と子どもたちが集まってきました。寿会の会員や体操を日課にしている住民たちが「おはよう。えらいね」と

## 毎朝やっってるよ

東志賀公園では健康づくりのために、365日、毎朝6時半からラジオ体操をしています。

す。世代を問わず、大事な交流の場になっています。新しい朝が来たよ、希望の朝だよ、早起きは三文の徳。気軽にご参加ください。

笑顔で迎えます。参加者はざっと100人。毎朝、ラジオ当番をして

笑顔で迎えます。参加者はざっと100人。毎朝、ラジオ当番をしてくれるいる坪内大二さんも、その光景をうれしそうに見つめます。長年続く夏休みの合同体操は、子ども会が「体操を教えてほしい」と依頼したことがきっかけ。保護者は「夏休みも健康的で規則正しい生活を送ることができると感謝していました。寿会の役員は「にぎやかで、元気が出ます」と笑顔でした。ご褒美のお菓子をもらい、シャッキとした表情で家路に就く子どもたち。暑い、暑い今年の夏も、元気がいっぱい過ぎていきます。

# 熱く熱く! アーバン夏祭り



子どもの踊りやフラダンスで盛り上がる会場

URアーバンラフレ志賀の5つの町内会が主催する「アーバン夏祭り」が7月29日、

萩野公園で開かれ、たくさんの方で盛り上がり、ステージでは地元の

## 盆踊りポスターの真下君

### パン教室からチラシ依頼

学区盆踊り大会のポスターのイラストを手がけた東志賀小6年の真下



結太君に、今度はパン教室のチラシの依頼が舞い込みました。岡本太郎に憧れる学区の若手作家。メロンパンの模様を生かして描いた作品が再び話題を呼んでいます。

真下君の盆踊りのポスターは、独特の世界観と斬新さが地元で評判になりました。親子で通うパン教室でその力作を見せると、「ぜひ、うちの教室のチラシも描いてほしい」とオファーされたそうです。

「まずは北区で有名になりたい!」。真下君の夢は、学区のポスターをきっかけに大きくふくらんでいます。

「ざらり☆キッズスクー ル」に通う子どもたちや保護者の皆さんが、猛暑を吹き飛ばす元気いっぱいダンスを披露。志賀学童保育所の児童による火踊り、住民のフラダンスやジャワ踊りが、祭りに華を添えてくれました。子ども会や学童、めいほく鳩岡の家が協力してくれた出店も大盛況でした。

準備は町内会や各団体、住民の有志が分担。公園を遊び場にして子どもたちも会場の設営を手伝い、お祭りの司会役も務めてくれました。夏の思い出の一ページになったのではないのでしょうか。

## ソフト&野球 児童を大募集

東志賀ジュニアクラブと一緒に白球を追いかけてませんか?仲間を募集中です。体験会もあります。お問い合わせ

問い合わせ HPから。





安心・安全 支える



会場の警備／熱中症の対策



おそろいのユニホームを着て会場を駆け回る防犯委員や体育委員、消防団員たちの姿を目にした来場者も多かったはずですが。交通事故や熱中症、子どものケガなどを防ぐため、皆さんが盆踊りを楽しむ間、ずっと活動に当ってくれました。各団体のメンバーは日ごろから、地域のために活躍中です。

## 楽しかった！ 学区盆踊り



汗だく やぐら作り



裏方さんが奮闘

学区ふれあい盆踊り大会(8月5日)は、今年も大盛況でした。住民のつながりを育むための恒例のイベント。浴衣姿の踊り手や屋台を楽しみむ人でにぎわい、「夏の思い出の1ページになった」という子どもたちも多かったはず。日ごろ、地域のために活動する学区の各種団体や町内会、子ども会、学童保育所…。楽しかった盆踊り大会の舞台裏では、企画や準備、後片付けに走り回った「裏方さん」が大活躍してくれました。

### 多彩な屋台



当日の朝8時。東志賀小の校庭に「ヒーローたちが集結しました。汗びっしょりになり、櫓(やぐら)やテントを組み上げます。屋台の準備も大忙し。重たいジュースのケースを運び込み、顔を真っ赤にして、焼きそばやフランクフルトなどの仕

### 手作り看板会場彩る

天野美帆さん



「この素敵な看板、誰が作っているの？」と気になった人も多いはず。主任児童委員の天野さんです。「通りすがりの人にも目立つ看板を」と、5日がかりで制作。「記念撮影をしている人を見ると頑張っていて良かったと思います」と天野さん。

込みを進めました。午後6時、いよいよ、スタートです。「みんなのために大勢の人が早くから準備をしてくれました」。開会式では、教頭先生が裏方さんの活躍を児童に紹介してくれました。女性の会が企画する練習会

の効果は絶大。今年も大きな踊り手の輪ができました。「みんな楽しそうに頑張ったかいがあった」と語るヒーローたち。翌朝、櫓やテントを片付け、校庭のごみを拾い、一大行事の盆踊りは幕を閉じました。

### 今月の題字

9月号は東志賀小4年の水谷さゆりさんの作品です。スーパースターを「この目で見た」という人も多いのでは？ 秋らしい題字がありがとうございました！ イラストの応募は編集部の鈴木まで(連絡先は裏面)

# 町の英雄 情報求む

学区の地域新聞「東志賀ヒーローズ」は、地元の明るい話題を大募集中です。情報提供をお願いします。題字のイラストもお寄せください。お問い合わせは編集部 鈴木龍司(アバン第1町内会長) ☎080(35502)3534

専用メールは、[higashihigaherocom@gmail.com](mailto:higashihigashihigaherocom@gmail.com)

電子版新聞  
ここから！



これまでの地域紙「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

# 今秋もちごいち！

## @兒子八幡社 11月19日(日)

昨年に続き、今秋も学区の「兒子八幡社」(志賀町)で、多世代が交流できるマルシェ『ちごいち』を開催します。前回は住民が、手作りの雑貨や編み物、お菓子の販売、おゆずり会や絵本の読み聞かせ、ゲームなど、多彩なブースを出店し、300人が来場しました。11月19日(日)10時~14時(少雨決行、荒天の場合は中止)。今年も出店者や子ども店員、大人スタッフを大募集します！



昨年、初開催し、盛況だった「ちごいち」

## マルシェ出店者を募集

【応募資格】東志賀学区在住 または学区に縁のある方

【募集概要】全10区画。1区画の広さは2M×2M。出店料は各1000円。駐車場なし

【応募締切】10月13日(金)

※応募者多数の場合は選考。

【申し込み先】ちごいち有志の会の 監事・天野さん☎090(6766)9188、または支えあい事務局の谷口さん☎90(9128)2044

Eメールは、[cosmos7435@gmail.com](mailto:cosmos7435@gmail.com)

※専用申し込みフォームは下の2次元コードから！



## 出店の概要はこちら

## 「子ども店員」やってみよう！

『ちごいち』は、子どももお店(みせ)を出すことができます。自分(じぶん)の好きなものや、つくったものを売って『一日店長』(いちにち・てんちょう)になれます。そして、子ども駄菓子屋(だがしや)さんスタッフや、『ちごいち』のおてっぴいをしてくれる人も募集(ぼしゅう)しているのです。ぜひ、手をあげてみてくださいね。

子ども店員などをフォローしていたく、大人スタッフも募集中。親子での参加も大歓迎。問い合わせや申し込みは出店募集の宛先と同じです。

# きらりり ①

## 北陵中教員 山崎勇哉さん

ノックを打つ視線の先には、大切に思う生徒たちがいる。東志賀小の卒業生が所属する北陵中野球部の顧問を務めて5年目。今夏、県大会ベスト8に導いた。27歳の熱血漢。県大会出場は他校に移った先輩顧問の念願でもあった。「チームを離れた先生方にも、応援し続けてもらえる存在でありたい」。その一



## 県8強に導く「応援される人間」生徒と目指す

心で、生徒と向き合ってきた。指導では人間性の教育を重視する。自転車やくつのは並べ方。子どもたちに「応援されるべき人間になろうな」と伝えている。目標に向かって仲間と努力する。諦めない。予選の市総体。生徒は敗色濃厚の試合をひっくり返した。「今後の人生でもピンチは来る。『でも、大丈夫』と自ら考え、乗り越えていく自信がほしいと思う」。顧問のやりがいを感じた瞬間でもあった。野球部では東志賀ジュニアの卒団生が活躍している。保護者にはコーチも多い。「今の時代、地域で野球を教える環境は当たり前ではない。その土台があったからこそ野球部」と感謝する。

「子どもの前に立つ以上、生徒が『よし、自分も頑張ろう』と感じてくれる大人でいたい」。胸に秘めて、今日も、子どもたちが待つグラウンドに立つ。



## 次回の町掃除

十月七日(土)

次の健康つながり町掃除は10月7日(土)8時半、東志賀公園集合です。誰でも参加できます。雨天中止。予約不要。9月は兒子八幡社で、氏子総代さんと一緒に草刈りをしました(写真④)。

## 新コーナー

## 「きらりり」誕生

地元で活躍する人に迫り、その思いを紹介する『きらりり』は、「読んで元気になるコーナー」を目指し、不定期で掲載します。「こんな人があるよ」という情報を、ぜひともお寄せください。



# 「長寿万歳！」

## 「敬老の日」学区で祝福

75歳以上 1518人

いつまでも、地域でお元気に！ そんな願いを込めて、今年も学区は「敬老の日」の式典を開催しました。近年、第1次ベビーブームに生まれた「団塊の世代」の方が75歳以上になり、招待者は増加傾向。地域とのつながり、交流を持つ人は、そうでない人と比べて健康寿命が長いとの調査結果もあります。地域活動が活発な東志賀学区は、まさに、お年寄りが元気に暮らせる町です。



### 老人会・児島会長 「つながり」元気の源



今春、三溝芳隆さん(93)から学区老人クラブ連合会会長のバトンを受け継いだ児島三郎さん(76)。出席者を代表し、児童から笑顔で花束を受け取りました。

大ベテランの三溝さんに誘われ、還暦前に老人クラブに参加した児島さん。学区トップの後任を打診され、「お世話になっ

てきた尊敬する先輩の頼み。恩返しをしたい」と、二つ返事で大役を引き受けたそうです。

定年延長などで近年、老人クラブの会員数は全国的に減少しています。「市連合会のトップも務めた三溝さんは、ものすごく心配していた」と児島さん。「人間は1人では生きていけないと思う。つながりがあるからこそ、元気に過ごせる」。お孫さんの笑顔を励みに、交流づくりの先頭に立つてくれています。

学区の75歳以上は、男性584人、女性934人の計1518人。式典に向けて、それぞれの地域の町内会長さんが対象者に招待状をお届けしました。

式典の準備は日ごろ、地域のために汗をかいている学区や各種団体、町内会の役員が協力。力を合わせていすや机を並べ、高齢者に渡す記念品の袋詰めなどに当たりました。

式典の後はお年寄りが楽しみにしている演芸大会。人気の「KI TA JAZZ！」の演奏や、住民によるフラダンス、カントリィダンス、日本舞踊が披露され、参加者は手拍子を打って楽しみました。

### 北陵中剣道部

#### 念願の県大会出場！



た。厳しい残暑が続いた9月。蒸し暑い会場では、民生委員さんが熱中症対策でお茶を配って回りました。学区の気づかいと優しさを象徴する「おもてなし」で、式典や演芸大会は大盛況のうちに幕を閉じました。

今月の題字  
10月号は東志賀小4年の小池藍君の作品です。満月と紅葉に映える富士山。秋らしいの大作を届けてくれました。イラストの応募は編集部 鈴木まで(連絡先は裏面)

### 最後の夏 梶村さん・逢坂さん 有終の美

北陵中女子剣道部が市総体で準優勝し、県大会出場を果たしました。市民スポーツ祭も制覇し、3年生は有終の美を飾りました。

部長で大将の梶村愛音さん(3年)と副部長で中堅の逢坂唯さん(3年)は、東志賀小出身の剣士。「市優勝！県大会出場！同じ目標に向かって頑張る良いチームだった」。中

学生最後の夏を満足そうに振り返ります。「練習はきつかったけれど、良い形で終われて良かった」と逢坂さん。梶村さんは「やればやるほど成長できると実感でき、楽しかった」。後を託した後輩には「2年生部員は少ないけれど、真剣に取り組めば必ずうまくなる。頑張って」とエールを送ってくれました。



2023年(令和5年)  
11月号(第30号)  
発行：東志賀学区  
連絡協議会



## 秋満喫・わが街ウォーク



完歩のごほうびは愛情たっぷり、熱々の豚汁！ 11月5日に開かれた「学区わが街ウォーキング大会」で「女性の会」の皆さんが参加者に豚汁を振舞ってくれました。長引く新型コロナウイルスが収束し、今年は4年ぶりの通常開催。多世代の150人が秋晴れの空の下、ウォーキングで交流を深めました。17回目を数える伝統のイベントを運営する体育委員さんは朝7時半に小学校に集合し、イベントの準備や誘導係に大活躍してくれました。

### 「女性の会」腕ふるろう

山崎悦男さんは「地域のつながりと交流、健康作りの機会にしたい」と呼びかけました。完歩賞の景品と合わせて、参加者が大喜びだったのが、「女性の

### 準備と誘導お任せ 体育委活躍

「頑張って歩きましょう！」。体育委員長の坪井勉さんのあいさつと、ラジオ体操で大会はスタート。学区長の

# 完歩豚汁でおもてなし

## 11月19日(日)@兒子八幡社

兒子八幡社(志賀町1の65)でのマルシェ「ちごいち」が迫ってきました。11月19日(日)の10時~14時まで黄色く色づいたイチヨウがきれいな神社境内で開催します。もしも、雨が降ってしまった場合は東志賀コミュニティセンター(志賀町5の2の9)に会場を移して開催します。雨でもぜひご来場ください！

### いよいよ『ちごいち』



## 雨天時はコミセン開催／社務所トイレ洋式に

兒子八幡社の管理をしている氏子総代会の皆さんが、「社務所のトイレを誰でも使いやすいようにしたい」との思いで、和式だったトイレを洋式に改修してくれました。足腰が弱いお年寄りも、和式便所に慣れない子どもたちも、これで安心して利用できます。多世代が来場する「ちごいち」でも、きつと喜ばれるはず。ボランティアで神社の手入れをしていただいている氏子総代会の皆さんは「住民の人が気軽に訪れてくれる神社にしたい」と願っています。トイレの改修も、そのための一大プロジェクトです。



会」の名物、豚汁。前日から仕込みを進め、野菜とお肉、こんにゃくたつぷりの150食を用意してくれました。「豚汁とぜんざいは先輩から続く女性の会の伝統。コロナ禍で久

しぶりの調理だったので、エキスパート(ベテラン)に集まってもらいました。そう話す会長の浅井叔子さんは「『おいしかった』と言われると、準備の疲れも吹き飛びます」

と笑顔。その言葉通り「すぐくおいしい」と声をかけられた会員さんは「行事があると新しい人とのつながりが持てます。それが一番の目的であり、うれしい」と話していました。

# 町の英雄 情報求む

学区の地域新聞「東志賀ヒーローズ」は、地元の明るい話題を大募集中です。情報提供をお願いします。題字のイラストもお寄せください。お問い合わせは編集部 鈴木龍司(アバン第1町内会長) ☎080(3502)3534 専用メールは、[higashihighaherocom@gmail.com](mailto:higashihigashihighaherocom@gmail.com)

# 電子版新聞 ここから!



これまでの地域紙「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

## 勇気と思いやり、育もう!

志賀学区の長喜温泉(長喜町)の斜め前にある道場です。正義感と勇気、思いやりがあり、自分を信じて他人の幸せを考えて行動できる人。私たちはそんな人を目指して修業に励んでいます。気軽に楽しんでいただくため、12月9日(土)午前10時から11時半まで無料の護身教室を道院で企画しています。参加者を11月末まで募集中です。(文章は鈴木貴博道院長)

### 少林寺拳法名法道院

### 12月9日 無料の護身体験を企画



名法道院は開祖・宗道臣の教えを受け継いだ先師・高橋法昇が山の四国から名古屋に降り立ち、1978年に専有道場を建てて以来、この地で活動しています。愛知に少林寺の種をまいた場所です。少林寺拳法の目的は、秘めている可能性を信じ、豊かな社会を築くために行動できる人を育てること。強さを競い合うものではなく、幸せに生きることを説く「教え」と上達を楽しむ「技法」を相乗的に機能させる「教育システム」です。「出逢いを大事にして、良い方向に変わったと言われようような人間になろう」。道院では今も、先師・高橋法昇の指導方針を貫いています。道場は志を持った素晴らしい仲間が集う場所です。ぜひ、「護身体験」にご参加ください。対象は小学生以上で、定員25人。申し込みや問い合わせは、鈴木道院長 ☎090(2132)6316へ。



2010年のもので撮影したものは2枚撮りました(名法道院提供)写真ご年す

道場の詳細はこちら



## 地震への備えお助け 家具固定ボラ大活躍

大地震が起きたとき、どう身を守るか。家具が倒れないように固定しておくことが重要だと言われています。「でも、自分ではとても作業ができない...」。そんな高齢者らの強い味方が北区家具転倒防止ボランティア「チーム北家具ボラ」です。東志賀学区の犬飼邦雄さんと寺木忠利さんもメンバーとして



### 犬飼さん・寺木さん 実績市内1位、市長表彰

活躍中です。「犠牲者を減らしたい」「助け合いの精神が大事」。「北区の人の役に立ちたい」。2人は家具固定の講習を受け、日々、依頼者の自宅に「出勤」しています。先日、編集部は作業の現場に密着。1人暮らしの80代女性は「高い所に上るのも足がふらついて不安。本当に助かるわ」と感謝しきりでした。北区のチームは昨年度、172件の依頼をこなし、本年度もすでに100件を超えています。その数はともに市内の16区でナンバーワン。その実績が認められ、9月には河村たかし市長から感謝状が贈られました。消防団長も務める犬飼さんは学区の会議で表彰の件を報告。参加者から大きな拍手が起きました。家具固定は施工費は無料で、負担は材料費のみ(一部助成制度あり)。申し込みや問い合わせは北消防署総務課 ☎052(981)0119へ。

## 保護司さん募集!

学区は保護司を募集中です。社会復帰を目指す人に寄り添う大切な役割があります。研修などサポート体制も充実しています。ヒーローズの25号では長年、保護司を担った児玉昭子さんの思いを紹介しました(2次元バーコードから読み直してみてください)。66歳以下が条件。問い合わせは、保護司会の岡田常晴さん ☎080(4376)3650へ。



【今月の題字】東志賀小4年の浅井希沙蘭さんと山本結梨さんが力を合わせてかわい作品を描いてくれました。モミジ、果物、クリ、キノコ...。秋がたくさんつまった力作です。節目の30号を飾る題字をありがとうございます。題字の応募は編集部の鈴木まで。問い合わせ先はページ上部。